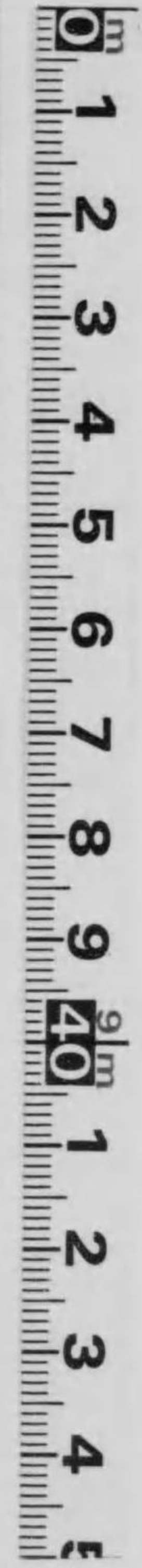


佐賀圖書館第四年報

(大正六年)



始



佐賀圖書館第四年報目次 (大正六年)

一 沿革	一
二 寄贈圖書	二
三 藏書	二
四 閱覽人及貸附圖書	四
五 館外借覽	六
六 分館	七
七 巡回文庫	八
八 雜報	九
九 建物	二
十 館員	二
圖書雜誌新聞紙寄贈者芳名	一四
英文報告	

一 沿革

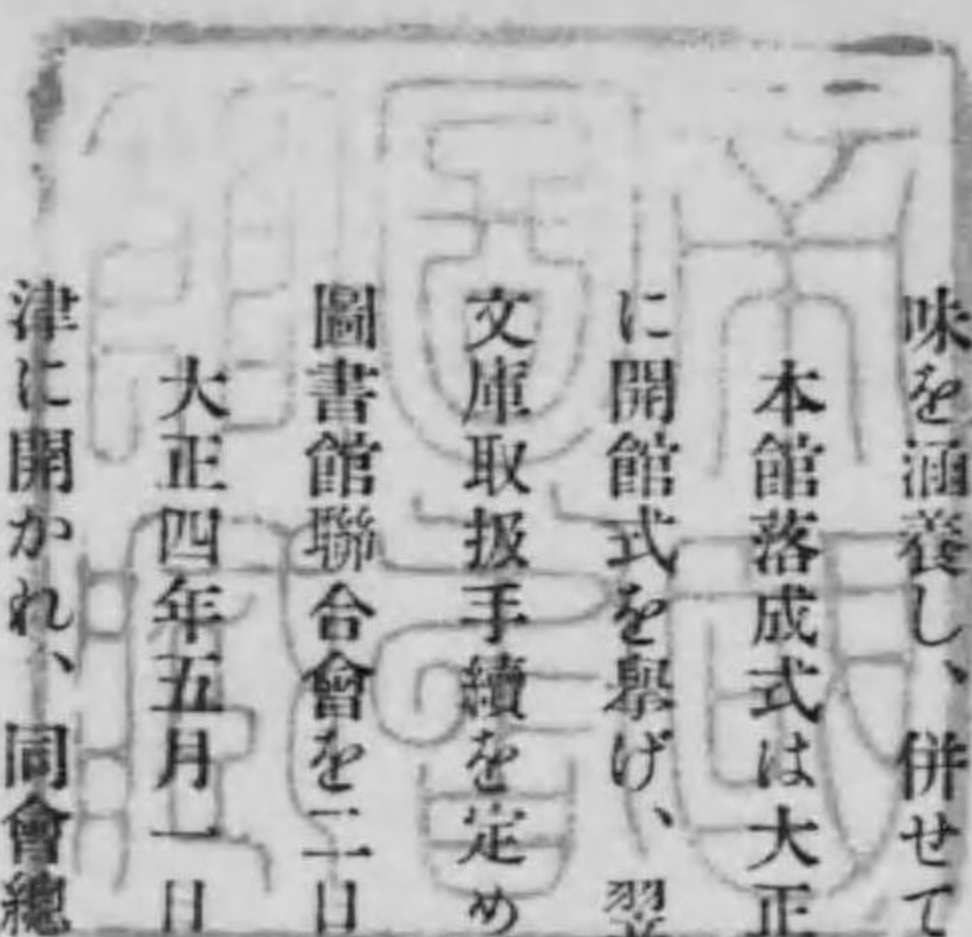
本館は佐賀市銅像園内に聳立し、英姿颯爽たる故閑叟公の銅像建設を動機として大正二年十一月創設せられたる鍋島侯爵家の維持經營に係る公開圖書館にして、其趣旨たるや専ら地方民一般の讀書趣味を涵養し、併せて其の参考の府となすと同時に、郷土資料の逸散湮滅を防ぐに在りとす

本館落成式は大正二年十一月十日を以て館主侯爵自から臨場の上舉行せられ、同三年二月十一日に開館式を擧げ、翌十二日より公衆の登館閱覽を開始す、同年中館外借覽並に縣下一般に對する巡回文庫取扱手續を定めて直に實施し、同年十一月十日落成一周年記念日には本館主催となりて九州縣圖書館聯合會を二日間開催せり

大正四年五月一日より四日間日本圖書館協會主催の下に、第十回全國圖書館大會を熊本、佐賀、唐津に開かれ、同會總裁侯爵徳川頼倫閣下を始め各地方主要圖書館長等約四十名來會せり、同年六月規則を改正して夜間開館を開始し、同年十一月縣下東松浦郡唐津町に分館を建設し、曠古の盛典、御即位の良辰にして又本館創立第二週年記念日たる同月十日開館式を擧ぐ、蓋し分館の制は本邦に於て未だ施設を試みたる館無きが如し

大正五年四月十日縣下各圖書館關係者の懇談會を開き、同年十月二十一、二十二の兩日本館創立滿

278-38



大正六年
10月6日
寄贈

確寄贈本

佐賀圖書館第四年報目次 (大正六年)

一 沿革	一
二 寄贈圖書	二
三 蔵書	二
四 閱覽人及貸附圖書	四
五 館外借覽	六
六 分館	七
七 巡回文庫	八
八 雜報	九
九 建物	二
十 館員	二
圖書雜誌新聞紙寄贈者芳名	二
英文報告	二

一 沿革

本館は佐賀市銅像園内に聳立し、英姿颯爽たる故閑叟公の銅像建設を動機として大正二年十一月創設せられたる鍋島侯爵家の維持經營に係る公開圖書館にして、其趣旨たるや専ら地方民一般の讀書趣味を涵養し併せて其の参考の府となすと同時に、郷土資料の逸散湮滅を防ぐに在りとす

本館落成式は大正二年十一月十日を以て館主侯爵自から臨場の上舉行せられ、同三年二月十一日に開館式を擧げ、翌十二日より公衆の登館閱覽を開始す、同年中館外借覽竝に縣下一般に對する巡回文庫取扱手續を定めて直に實施し、同年十一月十日落成一周年記念日には本館主催となりて九州各縣圖書館聯合會を二日間開催せり

大正四年五月一日より四日間日本圖書館協會主催の下に、第十回全國圖書館大會を熊本、佐賀、唐津に開かれ、同會總裁侯爵徳川頼倫閣下を始め各地方主要圖書館長等約四十名來會せり、同年六月規則を改正して夜間開館を開始し、同年十一月縣下東松浦郡唐津町に分館を建設し、曠古の盛典、御即位の良辰にして又本館創立第二週年記念日たる同月十日開館式を擧ぐ、蓋し分館の制は本邦に於て未だ施設を試みたる館無きが如し

大正五年四月十日縣下各圖書館關係者の懇談會を開き、同年十月二十一、二十二の兩日本館創立滿

大正六年十月
寄贈

寄贈本

278-38

三年を記念する爲古書展覽會を開催し、展列圖書解題目錄を作成して一般に頒與せり、兩日の來觀者七百餘名に上れり

大正六年四月二十六日より五日間鍋島藩祖直茂公三百年祭記念展覽會を開催す、五日間を通じて來觀人千百餘名の多きに達せり、同年七月二十五日縣下各圖書館及日本圖書館協會有志の會合を催し協議の結果、佐賀縣圖書館研究會を組織せり、同年十月十一日より兩日間統計展覽會を閱覽室に開く、來觀人四百三十名の中、智識階級に屬する者多數を占め、統計思想發達の遅々たる際一部人士に多少の感興を與へたるが如し

同年十月七日館長伊東祐毅氏は館主侯爵より現職を解かれて新に本館顧問を、副館長伊東平藏氏は其の後を襲ひて館長を囑托せられ、同時に職制に改正を加へらる

二 寄贈圖書

本年中江湖篤志家諸氏より寄贈を受けたる圖書冊數二百九十八冊、定期刊行物七十五種にして之に依り閱覽人の裨益する所多大なりとす、乃ち別に寄贈者芳名を列記して感謝の意を表す

三 藏書

本年度末に於ける本館藏書數は和漢書一萬二千四百八十冊、洋書三百七十三冊、合計一萬二千八百五十三冊にして内本年度増加の分は和漢書一千三百二十冊、洋書三十九冊なりとす

大正六年和漢書……………一、三二〇冊 内購入……………一、〇六一冊
 増加圖書(洋書)……………三九冊 寄贈……………二九八冊 計……………一、三五九冊

圖書分類統計

部門	種目	和漢書	洋書	合計	百分比
第一門	書目、事類、叢書、隨筆、少年圖書	一、〇七三	六〇	一、一三三	八八二
第二門	宗教	四七八	一三	四九一	三八二
第三門	哲學、附教訓學	八六六	一三	八七九	六八四
第四門	法律、政治、軍事	七八六	一六	八〇二	六二四
第五門	社會、經濟、財政、教育	一、三五九	四三	一、四〇二	一〇九一
第六門	文學、語學	三、三八四	一五二	三、五三六	二七五一
第七門	數學、醫學、理學	八七五	四	八七九	六八四
第八門	產業(農、工、商業)	一、〇七三	二二	一、〇九五	八五二

月 Month	第一門 書目、事業叢書、 隨筆、少年圖書 1. Bibliography, Dictionary, Miscellaneous Works & Childs Book	第二門 神宗 2. Theology and Religion	第三門 哲學 3. Philosophy (East & West Education
一月 January	1,517	305	1,642
二月 February	1,513	366	807
三月 March	1,605	358	1,768
四月 April	1,508	413	1,359
五月 May	1,939	565	1,877
六月 June	1,549	457	1,693
七月 July	1,651	483	1,590
八月 August	2,031	456	1,936
九月 September	2,280	551	1,978
十月 October	1,686	392	1,954
十一月 November	1,593	451	1,645
十二月 December	1,693	436	1,512
合計 Totals	20,565	5,233	19,761
一月平均 Monthly Average	1,713.75	436.08	1,646.75
分百比例 Percentage	1.124	2.86	10.80

四 閱覽人及貸附圖書

本年度に於ける開館日数は二百八十七日、圖書閱覽人十二萬六千三百五十五人、一日平均四百四十四人二分六厘、新聞閱覽人三萬七千六百三十五人、一日平均百三十一人一分三厘にして之を前年に比するに開館日數に二日を減し、圖書閱覽人は總數に於て四百六十六人を減し、一日平均一人四分四厘を増し、新聞閱覽人二千四十一人を減せり、開館日數の二日を減したるは展覽會二回の開催により、圖書閱覽人總數の減少は開館日數の減少に基き、新聞閱覽人の減少は春來商工界の好景氣に消閑の爲來館する者減少せしに依るならんか

貸附圖書冊數は十八萬三千二十五冊、一日平均六百三十七冊七分一厘、一人平均一冊五分弱にして之を前年度に比し總數に於て五千六百八十四冊、一日平均二十四冊八厘を増し、一人平均殆んど増減なし、又貸附冊數を藏書數一萬二千八百五十三冊に配すれば一冊の圖書は十四回強閱覽せられたる割合に當りて其の詳細は左表に示すが如し

計	第九門 美術、諸藝	第十門 地歴、史、傳、紀、行記
	五八八	一、九九八
三七三	五〇	
一、八五三	二、〇四八	
一〇〇〇〇	一五九三	
	四・五七	

貸附圖書分類表 (大正六年)

Table of the issue of Books in Reading Library (1917)

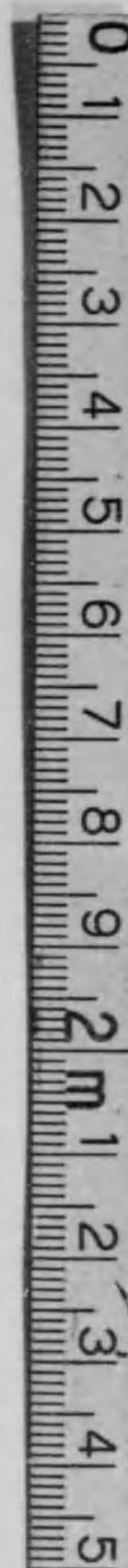
月 Month	第一門 書目. 事實叢書 雜誌. 少年圖書 1. Bibliography, Dictionary, Miscellaneous Works & Childs Book	第二門 神宗 書教 2. Theology and Religion	第三門 哲學 附 教訓 3. Philosophy (East & West) Education	第四門 法律. 政治 軍 事 4. Law, Politice & Military science	第五門 社會. 經濟. 財政. 教育等 5. Sociology, Political Economy, Finance and Education	第六門 文學 6. Literature and Philology	第七門 數學. 理學 工學. 醫學 7. Mathematics, Science, Engineering and Medicine	第八門 產 業 (農工商業) 8. Industry (Agriculture, Technology & Commerce)	第九門 美術 9. Fine Arts and Arts	第十門 歷史. 傳記 地誌. 紀行 10. History, Biography, Geography and Travels	合 計 Totals	百分比 Percentage
一 月 January	1,517	305	1,642	800	891	3,802	816	675	486	1,337	12,271	6.71
二 月 February	1,513	366	807	793	922	3,613	981	652	543	1,345	11,535	6.30
三 月 March	1,605	358	1,768	1,000	1,003	4,610	881	665	535	1,409	13,834	7.56
四 月 April	1,508	413	1,359	778	1,050	4,057	828	799	538	1,340	12,670	6.92
五 月 May	1,939	565	1,877	1,223	1,360	5,204	1,072	953	732	1,705	16,630	9.09
六 月 June	1,549	457	1,693	1,146	1,283	5,328	1,359	978	727	1,608	16,128	8.81
七 月 July	1,651	488	1,590	1,234	1,374	5,147	1,301	1,090	766	1,734	16,370	8.94
八 月 August	2,031	456	1,936	1,143	1,463	5,994	1,167	1,193	781	1,952	18,116	9.90
九 月 September	2,280	551	1,978	1,193	1,756	6,642	1,503	1,231	820	2,290	20,244	11.06
十 月 October	1,686	392	1,954	1,082	1,386	5,923	1,210	1,026	730	1,828	17,217	9.41
十一 月 November	1,593	451	1,645	986	1,209	4,785	1,217	849	734	1,669	15,138	8.27
十二 月 December	1,693	436	1,512	723	1,001	3,944	841	930	465	1,327	12,872	7.03
合 計 Totals	20,565	5,233	19,761	12,101	14,698	59,049	13,176	11,041	7,857	19,544	183,025	100.00
一月平均 Monthly Average	1,713.75	436.08	1,646.75	1,008.42	1,224.83	4,920.75	1,098.00	920.08	654.75	1,628.67	15,252.08	
分百比例 Percentage	1.124	2.86	10.80	6.61	8.03	32.26	7.20	6.03	4.29	10.68	100.00	

閱覽人員及圖書貸附表 (大正六年)

Table showing the Number of Visitors and Number of Books Read (1917)

	一月 January	二月 February	三月 March	四月 April	五月 May	六月 June	七月 July	八月 August	九月 September	十月 October	十一月 November	十二月 December	合計 Totals	一日平均 Daily Average	
開館日數 Number of Days Open	20	22	26	20	25	25	26	27	26	23	25	22	287		
學 生 Scholars	○ 530	713	1,063	1,001	990	1,284	1,495	1,402	1,431	1,568	954	510	12,941		
	△ 88	58	70	119	225	182	158	329	580	464	413	138	2,824		
	* —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	7		
	618	771	1,133	1,120	1,215	1,466	1,653	1,731	2,011	2,032	1,367	655	15,772	54.96	
教育家、技術家 僧侶、牧師 Educationists, Artists, Priests and Pastors	○ 109	103	109	69	116	118	163	227	107	63	71	49	1,304		
	△ 5	5	13	3	9	15	13	18	3	4	—	5	93		
	* 1,194	1,014	835	812	1,157	1,224	1,047	946	1,209	1,082	1,121	1,207	12,848		
	1,308	1,122	957	884	1,282	1,357	1,223	1,191	1,319	1,149	1,192	1,261	14,245	49.63	
官 公 吏 軍 人 Officers and Soldiers	○ 273	282	436	350	451	442	502	521	476	418	424	343	4,918		
	△ 12	17	12	6	5	5	13	8	20	36	25	8	167		
	* 692	844	837	858	684	705	734	742	758	827	427	638	8,746		
	977	1,143	1,285	1,214	1,140	1,152	1,249	1,271	1,254	1,281	876	989	13,831	48.19	
實 業 家 Business men	○ 409	598	666	761	787	882	865	886	964	853	583	468	8,722		
	△ 35	44	36	31	40	39	51	69	67	44	62	24	542		
	* 3,719	2,423	3,435	3,174	3,520	3,402	2,993	3,581	3,545	3,339	3,354	3,819	40,304		
	4,163	3,065	4,137	3,966	4,347	4,323	3,909	4,536	4,576	4,236	3,999	4,311	49,568	172.71	
無 職 業 Without occupation	○ 363	345	455	623	604	710	617	585	759	872	449	297	6,679		
	△ 4	6	19	36	36	20	23	30	8	11	29	9	231		
	* 147	166	161	206	165	162	185	183	185	150	116	106	1,932		
	514	517	635	865	805	892	825	798	952	1,033	594	412	8,842	30.81	
婦 人 Women	○ 79	95	122	92	164	119	107	132	174	86	90	91	1,351		
	△ 5	4	8	8	6	11	3	4	15	—	2	1	67		
	* 189	127	181	153	414	239	232	180	325	277	221	228	2,766		
	273	226	311	253	584	369	342	316	514	363	313	320	4,184	14.58	
少 年 Children	○ 134	84	364	268	346	222	204	437	246	176	134	136	2,751		
	△ 41	36	76	64	86	47	81	115	145	97	124	69	981		
	* 1,019	1,437	827	1,031	2,158	1,259	1,231	1,032	2,347	1,289	1,130	1,421	16,181		
	1,194	1,557	1,267	1,863	2,590	1,528	1,516	1,584	2,738	1,562	1,388	1,626	19,913	69.38	
合 計 Totals	○ 1,897	2,220	3,215	3,164	3,458	3,777	3,953	4,190	4,157	4,036	2,705	1,894	38,666		
	△ 190	170	234	267	407	319	342	573	838	656	655	254	4,905		
	* 6,960	6,011	6,276	6,234	8,098	6,991	6,422	6,664	8,369	6,964	6,369	7,426	82,784		
	9,047	8,401	9,725	9,665	11,963	11,087	10,717	11,427	13,364	11,656	9,729	9,574	126,355	440.26	
一 日 平 均 Daily Average	452.35	381.86	374.03	483.25	478.52	443.48	412.19	423.22	514.00	506.78	389.16	435.18			
新 聞 紙 News Papers	○ 2,086	2,613	3,098	2,849	3,428	3,151	3,295	3,197	3,122	2,547	2,618	2,102	34,106		
	△ 152	129	174	235	358	174	257	473	503	446	477	151	3,529		
	* —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	2,238	2,742	3,272	3,084	3,786	3,325	3,552	3,670	3,625	2,993	3,095	2,253	37,635		
一 日 平 均 Daily Average	111.90	124.63	125.84	154.20	151.44	133.00	136.61	135.92	139.42	130.12	123.80	102.40		131.13	
貸 付 圖 書 Number of Books Read	合 計 Totals	12,271	11,535	13,834	12,670	16,630	16,128	16,370	18,116	20,244	17,217	15,138	12,872	183,025	637.71

○ 本館 Central Library.
 △ 分館 Branch Library.
 * 巡回文库 Circulating Library



巡回文庫統計 (大正六年)

所在地	館名	開館年月	庫數	冊數	日數	閱覽人員		閱覽冊數			
						館內	館外	館內	館外		
嘉瀬村	立嘉瀬通俗圖書館	大正四年二月	三	一九二	三四二	六〇九六	九九	六一九五	六一二	二五	六、三六
西川副村	立西川副村青年會通俗圖書館	大正四年十一月	三	一九八	三三六	九、七四八	七九五	一七六三	九、八九九	七、九三	一七八二
久保田村	立久保田通俗圖書館	大正四年十二月	三	一九四	三二〇	三、九七六	二、六九七	六、六七三	五、一〇二	二、一九〇	七、一九二
大詫間村	立大詫間村青年會圖書館	大正五年四月	二	一〇四	二六二	三六九	五〇	八八九	五〇六	六四	一、一三〇
兵庫村	立兵庫村青年會通俗圖書館	大正五年五月	二	一〇四	一一〇	六七八	三八四	一、〇六二	六八六	三八四	一、〇七〇
高木瀬村	步兵第五十五聯隊	大正五年七月	六	二八三	三四九	六、六五〇	—	六、六五〇	六、九四六	—	六、九四六
神野村	立神野尋常小學校	大正六年十月	一	六五	九	—	四八	四八	—	—	六〇
蓮池村	立蓮池青年文庫	大正四年一月	三	一九六	三〇七	—	四〇三	四〇三	—	—	四四七
西多久村	立西多久村青年會圖書館	大正四年四月	三	一四六	三〇六	九	一、二一〇	一、二一九	九	—	一、二一九
北多久村	立北多久通俗圖書館	大正四年五月	三	一九六	一八四	一、一五二	一、八八四	三、〇三六	一、六三二	—	二、四五二
南多久村	立南多久通俗圖書館	大正四年六月	三	一七二	三〇八	—	一、三四〇	一、三四〇	—	—	一、四九〇
東多久村	立東多久通俗圖書館	大正四年八月	三	一八四	三〇一	一、五八五	八六三	二、四四八	一、二九八	—	一、一六六
南山村	立古湯通俗圖書館	大正四年十月	三	一三九	三〇〇	五	一、七九三	一、七九三	五	—	二、二八八
南山村	立內野通俗圖書館	大正四年十月	三	一五四	二八四	一、〇〇七	一、七二二	二、七二八	一、一五二	—	六、四六二
北山村	立北山東部圖書館	大正四年十一月	二	九六	二三八	八八	六〇〇	六八八	八九	—	六〇四
三里村	立三里青年會圖書館	大正四年十一月	三	一四二	三〇四	六九	八三八	一、四五七	七四九	—	九九〇
晴田村	立晴田通俗圖書館	大正四年十一月	三	一六二	三二二	二四二	七四五	九八六	二七八	—	一、〇九二
砥川村	立砥川通俗圖書館	大正四年十二月	三	一四九	二二九	一、三八七	一、〇一〇	二、三九七	一、三八九	—	一、〇〇八
小城町	立櫻岡通俗圖書館	大正四年十二月	三	一三九	二一九	二、六四三	三六	二、六七九	二、九七三	—	三、〇〇九
牛津町	立牛津圖書館	大正五年一月	三	一九二	三二二	六〇二	六四三	一、二四四	七六七	—	七九〇
芦刈村	立芦刈村青年會圖書館	大正五年二月	三	一四二	三三八	—	二、七二五	二、七二五	—	—	二、八五八
嚴木村	立嚴木通俗圖書館	大正四年十月	三	一八六	三三三	一、二八五	五九〇	一、八七五	一、三二七	—	六二七
北波多村	立北波多通俗圖書館	大正五年十一月	三	一八九	二三五	七四	一、〇三二	一、〇九六	七	—	一、〇七八
玉島村	立村御大典玉島村圖書館	大正六年六月	二	一七	五〇	—	二〇六	二〇六	—	—	二、七四
二十ヶ村	立二十ヶ村一校	大正五年七月	—	三四六	—	—	二、〇一五	二、〇一五	—	—	二、〇一五
波多津村	立波多津圖書館	大正五年六月	三	一八六	二八四	四六	一、二二五	一、二二五	—	—	二、〇一五
福富村	立福富文庫	大正三年十一月	三	一七七	二四八	一、五九五	一、六七二	三、二六七	一、八〇四	—	一、八七二
福治村	立福吉通俗圖書館	大正四年九月	三	一九七	二六三	一、三六四	九五五	二、三二九	一、三六二	—	九六八
武雄町	立武雄島圖書館	大正五年二月	三	一九七	二七八	七〇九	六八	七七七	九三三	—	八六
六角村	立六角圖書館	大正六年十二月	一	五三	二二	八四	一六五	二四九	八四	—	一六五
古枝村	立古枝村青年會圖書館	大正三年十二月	三	一八三	三三二	九七八	八〇三	一、七八一	一、二二六	—	二、四一四
合計			八五	五、一七六	七、四八三	四、一九九	三、九七五	八、二七四	四、四三八	—	四、七六五
大正五年			七二	四、一〇四	五、七七四	三、九五五	四、〇六〇	八、〇四五	三、九八七	—	四、〇七五
大正四年			三四	二、二二六	二、一五〇	九、七八三	一九三二五	二、九〇九八	二、一五六	—	三、五、四一三

大正三年	大正四年	大正五年	大正六年
1914	1915	1916	1917
262	292	289	287
37,711	70,905	126,821	126,355
31,047	40,051	39,676	37,635
143.93	242.82	438.82	440.26
118.50	137.16	137.28	131.13
82,065	127,515	177,341	183,025
313.22	436.69	613.63	637.71

大正三年二月開館ヨリ本年末ニ至ル閱覽成績比較表

Comparison by years from February 1914, to December 1917.

大正三年 1914	大正四年 1915	大正五年 1916	大正六年 1917
5,301	8,243	11,494	12,853
262	292	289	287
37,711	70,905	126,821	126,355
31,047	40,051	39,676	37,635
143.93	242.82	438.82	440.26
118.50	137.16	137.28	131.13
82,065	127,515	177,341	183,025
313.22	436.69	613.63	637.71

巡回文庫雑誌情報 (大正六年)

尙圖書閱覽人及貸附圖書冊數を館内閱覽人と館外借覽人とに區別するときは左の如し

	館内圖書閱覽人	同上貸附圖書冊數	館外圖書借覽人	同上貸附圖書冊數
本館	二九、三六四	六五、一二七	九、三〇二	一四、二九六
分館	四、四七二	八、七三〇	四三三	七六九
巡回文庫	四五、〇〇四	四八、四五四	三七、七八〇	四五、六四九
合計	七八、八四〇	一二二、三一一	四七、五一五	六〇、七一四
一日平均	二七四・七〇	四二六・一三	一六五・五五	二二一・五四

五 館外借覽

本年度に於て館外借覽特許證を附與せし人員二百十五人、同證返納人員百八十八人、前年度來同證所有者三百二十二入、差引合計年末に於ける現在數は三百四十九人にして之を前年に比するに二十七名を増せり、然して其圖書を借覽及借換したる回數は九千三百二回、一日平均三十二回強、之に貸付の圖書冊數一萬四千二百九十六冊、一日平均五十冊弱、一回平均一冊半にして之を前年度に比するに借覽回數一千八十四回、圖書冊數八百九十七冊、一日平均四冊弱を増加せり、然して特許證所有者中圖書借換のため自から來館する者は約一割五分にして他の八割五分は圖書集配人を其居所に派出して

交換を行はしむる者なり、但し目下集配人は日々二名を出せり
今特許證附與者を職業別にするときは左掲の如し

	大正六年	同五年	大正六年	同五年
官公吏軍人	一一二	一一〇	一二増	教育家 一四 一五 一減
僧侶牧師	三	四	一減	技術家 七 八 一減
新聞記者	六	七	一減	醫師藥劑師 一〇 九 一増
銀行員會社員	五四	五二	二増	製造業 一二 九 三増
商業者	六九	六三	六増	店員 四 二 二増
職人使用人	一一	五	六増	無職 八 一五 七減
婦人	二九	二三	六増	合計 三四九 三三二 二七増

六 分館

分館は唐津分館の一館にして同館は大正四年十一月十日の設置に係る、本年度に於ける同館開館日數、閱覽人員、貸付圖書冊數は前掲統計に記するが如くにして、本年度末に於ける備付圖書數は本館廻付の分八百八十一冊、東松浦郡教育會所藏の分五百冊、合計千三百八十一冊なりとす、然して同教育

八

會の委囑により前年度より郡内二十ヶ村小學校四十一校に小形巡回文庫の廻送を開始せり、同文庫は重もに小學校教員の使用に供せらるゝものにして本年度に於ける其成績は巡回文庫統計に示すが如し茲に特筆すべき一事は分館は固一民家を借受け、之を借用して開館したるを以て配室の按排、諸般の設備不十分にして豫期の成績を上ぐることを遺憾とせしが、唐津出身にして夙に阪神實業界に名聲ある長谷川銚五郎氏及岩城商會主岩城卯吉氏は、之を諒として岩城氏は同町大名小路所在の所有地約四百坪を圖書館敷地に、長谷川氏は同建物建築費參千六百圓を寄附せられたる事是なり、兩氏の寄附は唐津町にて之を受理し、伊東本館長立案の設計に據て既に工事に着手せしが、明年春期落成の上は町より分館用として永久無償にて本館に貸付あるべき豫定なり、蓋し兩氏の美舉に依りて向後唐津分館の受くる利便たるや實に鮮少ならずと信ず、右に關して東松浦郡長酒井茂馬、故唐津町長齋藤勇三、及大島小太郎、河村藤四郎、岸川善太郎の諸氏特に斡旋の勞を取られ、終始盡力せられしは寔に感佩に堪へざる所なりとす

七 巡回文庫

本年度に於ける文庫廻付の町村立、私立圖書館數二十九館及歩兵第五十五聯隊の一ヶ所にして、之に廻付の文庫數八十五函、廻付圖書冊數五千七百七十六冊、閱覽人員八萬二千七百八十四人、貸付圖書

冊數九萬四千三百三冊なりとす、之を前年に比し廻付庫數に十三函、廻付冊數に九百七十二冊、閱覽人員二千三百九人、貸付冊數一萬三千四百七十九冊を増加せり、又東松浦郡各小學校に廻付の文庫は唐津分館より發送し其校數四十一校、之に廻付の圖書冊數三百四十六冊、閱覽人員二千十五人、貸付冊數二千十五冊なりとす

右の如く縣下各地に比年通俗圖書館樹立せられて本館巡回文庫の利用漸次普及するに至れるは、青年補習教育の向上及社會教育の發達上より視るも最も悦ぶべき現象となさざるを得ず

八 雜報

○佐賀縣圖書館研究會 大正六年七月二十五日午後二時より本館に於て縣下各圖書館員及圖書館協會員有志の集會を催せり、出席者は伊東館長、鍋島書記、永田司書補外十七名にして伊東館長は昨年引續き目下講習會開設のため、圖書館關係者も多數佐賀市に參集せられたるを好機とし、此に會合を催す旨を前提として、去る大正三年本館開館以來縣下各地に設置されたる圖書館の概況、社會教育と學校教育との關係、圖書貸付の方針、文庫交換手續等を詳述し、且既設圖書館の改善發展を計り、未設地には之が設置を促すの必要等に就き約一時間に互り講演する所あり、終りて各自意見の交換若くは質疑應答の後、野田佐賀郡視學の發議にて佐賀縣圖書館研究會を組織することとなり、五時散會し

たり、因に同會規則並に列席者諸氏の氏名は左の如し

佐賀縣圖書館研究會規則

- 第一條 本會は縣下圖書館の普及並に改善を圖るを以て目的とす
- 第二條 本會は佐賀縣圖書館研究會と稱し事務所を佐賀圖書館内に置く
- 第三條 本會は佐賀縣下所在の圖書館員其他有志者を以て組織す
- 第四條 本會は市に委員長及各郡部に委員を置く
- 第五條 本會は毎年一回夏季を以て總會を開き其他必要ある時は臨時開會することあるべし

出席者氏名 (出席順)

- | | | |
|-----------------|----------------|-------------|
| 佐賀圖書館長伊東平藏氏 | 同館書記鍋島哲雄氏 | 同館司書補永田義彦氏 |
| 同館事務員荒木武夫氏 | 蓮池青年文庫卜部季明氏 | 嚴木青年文庫今泉秀一氏 |
| 北多久圖書館毛利英夫氏 | 玉島圖書館長田中三郎氏 | 杵島圖書館中尾頼三氏 |
| 相知圖書館桑原乙藏氏 | 有田圖書館長坂本滿次郎氏 | 佐賀郡視學野田鹿雄氏 |
| 東松浦郡視學瀬戸欽作氏 | 藤津郡教育會幹事北御門正夫氏 | 西松浦郡視學山口助二氏 |
| 思齊圖書館長原田千之氏 | 福吉圖書館古田岩衛氏 | 聖岳通俗圖書館堤恭倫氏 |
| 圖書館協會特別會員西村萬次郎氏 | 同協會員久保源六氏 | |

○日本圖書館協會九州支部長の更迭 同會九州支部第三回總會は大正六年十一月八、九日の兩日鹿兒島縣立圖書館に於て開催せられ、第二日協議會に於て支部長の改選行はれたるが投票の結果、本館々長伊東平藏氏當選したり、依て十二月中鍋島哲雄永田義彦の二氏を幹事に推薦し、前任支部長中津熊本縣立圖書館長より事務の引繼を受け爾來同會の事務は本館に於て取扱へり

九 建 物

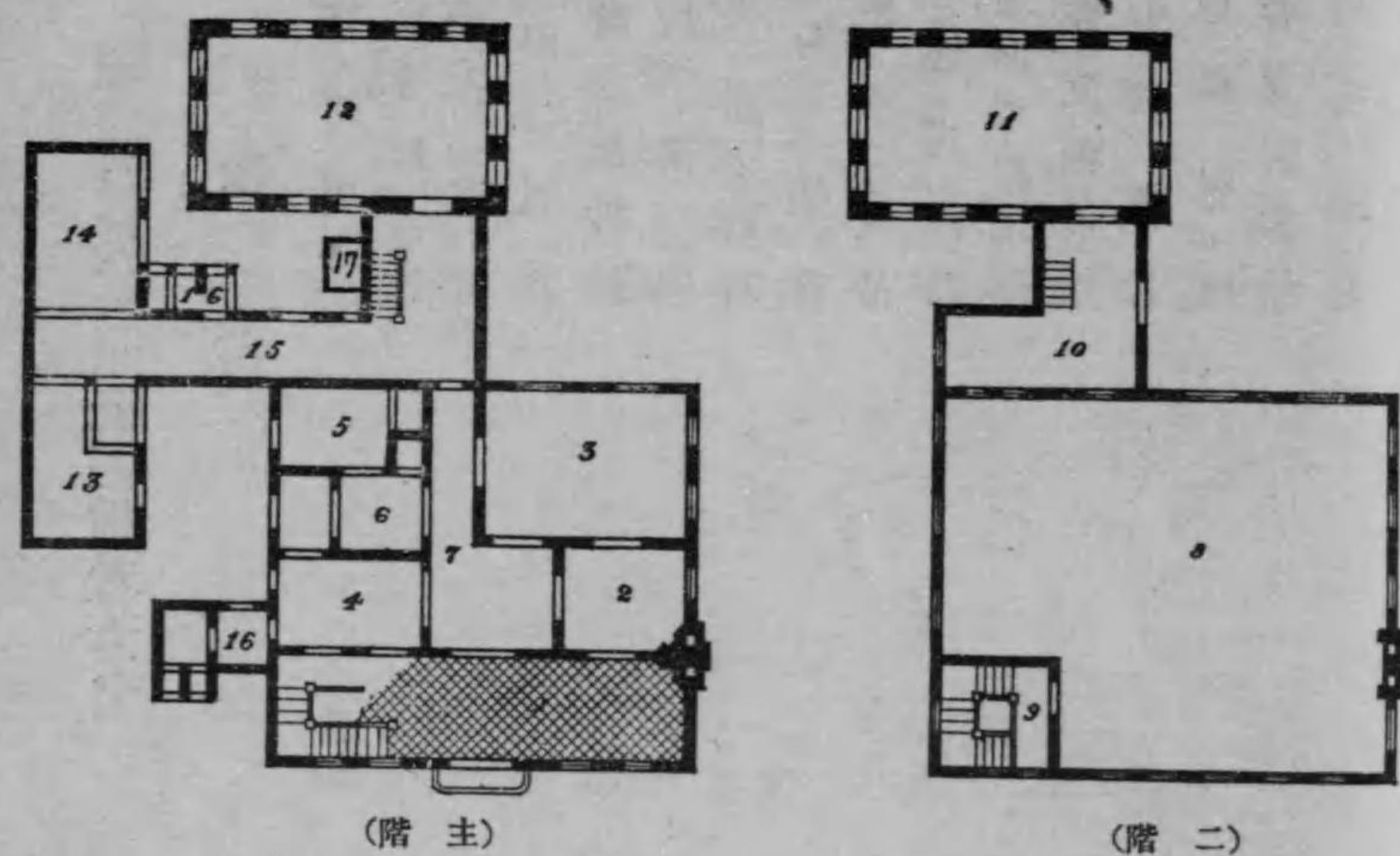
本館は佐賀市銅像園内にありて大正二年五月十五日起工し同年十一月五日竣成す、建物は主館一棟書庫一棟、附屬家二棟より成りて間口四十二尺、奥行七十五尺、建坪七十八坪とす

主館は木造塗家スレート葺き洋式二階建にして地盤より軒までの高さ三十尺、面積四十五坪五合、書庫は木骨煉瓦造、瓦葺き三階建にして主館の北方に位し、軒の高さ地盤より二十七尺、東西三十尺、南北十八尺、面積十五坪、附屬家は平家建十七坪五合にして書庫を除き、男女閱覽室、閱覽人休憩室、事務室、迎賓室、小使室等を主館及附屬家に配置すること左掲略圖の如し

十 館 員

館 主 侯爵 鍋 島 直 大

佐賀圖書館平面圖



符號	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
室名	玄關及新聞室	迎賓室	事務室	閱覽人休憩室	宿直室	內玄關電話室	廊	閱覽室	階段室	渡廊	書庫三階	書庫一階	製本室及小使室	少年室	渡廊	廁所二ヶ所	物置
坪	一四〇〇	五〇〇	八七五	三七五	三五〇	四〇〇	六五〇	四〇五	五〇〇	五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	五〇〇	五〇〇	九〇〇	三五〇	二〇〇

出納手五名、裝釘工一名、館丁二名	事務員	唐津分館主任	書記	司書	司書補	顧問	館長
	松崎	荒木	鍋島	永田	伊東	伊東	二
	春治	武夫	哲雄	義彥	祐穀	平藏	

圖書雜誌新聞紙寄贈者芳名

圖書

寄贈者	冊數
秋田縣立圖書館	一
池尻義雄君	三
池田旭君	一
石川縣立圖書館	二
石坂文庫	一
伊東祐穀君	一〇
伊東榮君	一
伊東平藏君	一八
市場德兵衛君	一
井上巡回文庫本部	一
茨木縣立圖書館	一
宇野進君	二
岡山孤兒院	一
大阪府立圖書館	二
太田秀穂君	一
寄贈者	冊數
大橋圖書館	一
鹿兒島縣立圖書館	二
狩野雄一君	一
神作演吉君	二
外務省通商局	一
歸一協會	二
九州帝國大學	二
杵島郡役所	一
岸本康通君	二
北原種忠君	一
久原半三君	一
熊本縣立圖書館	一
吳秀三君	二
慶應義塾圖書館	一
高知縣立圖書館	一

故桂公爵記念事業會	二	東京高等工業學校	一
古賀製次郎君	三	東照宮三百年記念會	一
古賀秀一君	一	東北帝國大學	一
佐賀縣	一六	中村常一郎君	一
佐賀縣水產試驗場	二	名古屋高等工業學校	一
佐賀縣內務部	一	鍋島侯爵家	一
佐賀縣農事試驗場	一	鍋島哲雄君	一
佐賀市役所	一	鍋島半八郎君	一
下鄉共濟會	一	奈良戰捷記念圖書館	一
私立成田圖書館	一	南葵文庫	一
私立養徳文庫	一	西松浦郡役所	一
副島道正君	一	日露協會	一
武岡豐太君	二	林保太君	一
筑豊石炭鑛業合組事務所	一	東松浦郡役所	一
千葉縣立高等園藝學校	一	日高壯之亟君	一
帝國圖書館	一	廣瀬貞治君	一
帝室林野管理局	一	福澤桃介君	一
東京音樂學校	一	藤津郡役所	一
東京外國語學校	一	白耳義國公使館	一

町井鐵之助君
 松田熊吉君
 三菱合資會社唐津支店
 宮城縣立圖書館
 宮崎縣立圖書館
 三村三平君
 武藤長平君

二 明治專門學校
 九〇 山口縣立山口圖書館
 一 山口清作君
 五 橫田茂次郎君
 一 吉田弟彥君
 一 聯合國傷病兵罹災者慰問會
 二 New York Public Library
 一 Biblioteca nazionale centrale, Firenze (Italia)

雜誌

寄贈者	書名	冊數	寄贈者	書名	冊數
愛國婦人發行所	愛國婦人	二四	一大帝國社	一大帝國	九
伊東祐穀君	生活	二	伊東平藏君	帝國教育	二
印刷時報社(大阪)	印刷時報	二	川野竹一君	國柱新聞	二三
九州酒醬油飲料新聞社(福岡)	九州酒醬油飲料新聞	七	九州婦女新聞社(福岡)	九州婦女新聞	一
北原種忠君	皇道	二	記念物保存協會	史蹟名勝天然記念物	二
鑛業及鑛夫社	鑛業及鑛夫	七	健全之日本社	健全之日本	一

佐賀郷友青年會	佐賀	九	佐賀縣教育會事務所	佐賀縣教育	一二
佐賀縣知事官房	海の世界	二	佐賀縣知事官房	殖民公報	一
佐賀縣立農事試驗場	試窓	四	佐賀中學校榮城會	榮城	三
佐藤七太郎君	國家學會雜誌	七六	自治正報社	正報	一
受驗英語社	受驗英語	九	白木屋吳服店	流行	一二
心靈哲學會(松江)	心靈界	五	大正時報社(福岡)	大正時報	一八
大正社(京都)	大正之美術	一二	大日本蠶糸會	大日本蠶糸會報	一二
大陸社(大連)	大陸	二	筑豊石炭鑛業組合事務所	鑛業組合月報	一二
通俗悟道會	通俗悟道	一六	帝國地方行政學會	地方行政	六
帝國評論社	帝國評論	一	東亞義園本部	救世	一
東京書籍商組合事務所	圖書月報	三	東京書店	新刊圖書雜誌月報	二
東京統計協會事務所	統計集誌	一二	統計學社	統計學雜誌	一二
東洋協會	東洋時報	一二	名古屋通俗圖書館	名古屋通俗圖書館報	一〇
鍋島哲雄君	新東洋	六	南洋協會	南洋協會會報	一二
日露協會	日露協會報告	四	日本印刷會社(大阪)	日本印刷界	一二

日本陶磁器時報社(名古屋)	日本陶磁器時報	一〇	日本圖書館協會	圖書館雜誌	三
日本貿易協會	貿易	一二	農商務省特許局	實用新案公報	六二
農商務省特許局	商標公報	三三	同	特許公報	四〇
實文館	新學海	一	博文館	淑女畫報	一二
博文館	太陽	一二	同	中學世界	一五
兵動正男君	とさのこゑ	二	松本樂器合資會社	月刊樂譜	一
滿蒙研究會(大連)	滿蒙研究會彙報	一一	三越吳服店	三越	一二
牟田口保太郎君(臺灣)	臺灣教育	四	茗溪會	教育	一二
森善三君	九州衛生新報	一三	養鷄園藝社(大阪)	養鷄と園藝	九
養蜂界社(愛知)	養蜂界	一二	良書普及會	良書新報	五
ローマ字ひろめ會	ローマ字	一一			

新聞

伊東祐毅君	報知新聞(唐津分館)	神戶又新日報社	神戶又新日報
唐津日日新聞社	唐津日日新聞	九州新聞社	九州新聞

關門日日新聞社	關門日日新聞	西肥日報株式會社	西肥日報
佐賀新聞社	佐賀新聞	佐賀毎日新聞社	佐賀毎日新聞
佐藤兼太郎君	都新聞	長崎日日新聞社	長崎日日新聞
日州新聞社	日州新聞	肥前日日新聞社	肥前日日新聞

SAGA LIBRARY.

This Library was founded by Marquis Nabeshima, in November of the second year of Taisho (1913), in the park of Saga. The greater part of the Prefecture of Saga was the feudal fief of the Nabeshimas in the time of the Tokugawa Shogunate, and the father of the present Marquis, the late Lord Kanso, in his time, contributed much to the welfare and happiness of the people of his fief by introducing Western sciences and civilization, improving institutions, promoting education, and laying a firm foundation for finance. The people of the Prefecture, who were much moved by his kind offices, raised the money, amounting to more than 10,000 yen, with which they laid out the big park in the city of Saga, and erected a grand bronze statue by way of reminding posterity of his beneficent rule. Marquis Nabeshima was impressed by the friendship and gratitude of the people, and he built this Library in the park, for, although the city of Saga was noted for its wide-spread education, and had indeed perfect institutions for primary and middle school courses, it had no library, which is the most important organ for social education.

This Library, like those of any other prefecture, is open to the public. Its aim is to serve as a supplement to school education by offering a good library and to spread and promote social enlightenment by cultivating the general taste for reading. Moreover it aims to keep the historical

materials of the locality from being scattered and lost. The yearly expense for maintaining the Library is wholly supplied by the house of the Marquis.

The present Marquis, by the way, stayed for long in Rome as the Envoy Extraordinary and Minister Plenipotentiary, and rendered his services as the Grand Master of Ceremonies at the Imperial Court. At present he is the president of the Geographical Association, the Seamen's Relief Association, the Japan-Italy Association, and several other scientific associations.

In November of the fourth year of Taisho (1915), a branch of the Library was established at Karatsu, a town in the Prefecture, and it is in contemplation to build another branch in the town of Kashima and four branches in the city of Saga in the course of 1918. As Japan had no experience in a branch library, that of Karatsu was made as a test, and it was found that there was nothing awkward in the way of management, but of much use and convenience for the public. Such being the case, the idea is entertained to establish gradually many more branch libraries in more or less important towns of the Prefecture, as far as the expenditure allows.

Being influenced by this Library, there have been more than thirty small libraries established in the Prefecture since the Third year of Taisho. These libraries, both public and private, are all subject to the Department of Education's Regulations for Libraries, and our Library is sending them

circulating libraries for the purpose of encouraging and fostering them.

It is only four years since the opening of our Library, and consequently the books owned are not yet very many. The number of volumes at present is 12,853 excluding magazines and pamphlets. The volumes that have been added during 1817 are 1,359 of which 1,061 volumes are by purchase and 298 volumes by donation.

The work of this Library is divided into three parts. 1) Reading in the Reading Room of the Library, 2) Lending-out of books, and 3) Lending-out of books by way of circulating library. These are all gratuitous. Into the Reading Room those who are over twelve years of age are admitted to read there any book or books that they will. For the children under twelve years of age, there is a Childrens Reading Room. The lent-out books are for those who are of age and have no time to come to the Library to read on account of their work or for some other reasons. They can have the books, they wish to read, brought to their dwellings by the library messengers once a week or at the time they appoint. By the Circulating Library, books from 40 to 80 in number, put in a specially made box, are sent to each of the small libraries. The period of detention is four months.

The report of the works of the Central Library, the Branch Library, and Circulating Libraries during 1817 is as follows:

The number of days on which the Libraries were opened is 287.

	Central Library	Branch Library	Circulat- ing Library	Total	Average per Day
Readers in the Reading Room.	29,364	4,472	45,004	78,840	274.70
Volumes bor- rowed by the above.	65,127	8,730	48,454	122,311	426.13
Readers of the lent-out books.	9,302	433	37,780	47,515	165.55
Volumes bor- rowed by the above.	14,296	769	45,649	60,714	211.54

Readers of Newspapers.

Central Library	Branch Library	Total	Average per Day
34,106	3,529	37,635	101.13

The staff of the Library consists of one Director, one Adviser, one Assistant Librarian, three Clerks, six Book-boys, and three Servants. The present Director is Mr. Heizo Ito, who was Professor of the Tokyo School of Foreign Languages, and rendered valuable assistance in founding the Tokyo Hibiya Library, and the Ohashi Library. He is now one of the Councillors of the Library Association of Japan. The present Adviser and Ex Director is Mr. Sukeyoshi Ito, who is a well-known statistician, and one of the Councillors of the Library Association of Japan.

What is given above is to be understood as a rough outline of the history of the Library, and the present state of its work.

January, 1918.

At Saga.

大正七年五月二十二日印刷
同年五月二十五日發行

(非賣品)

發行所

佐賀市松原町
佐賀市松原町六十一番地
佐賀市松原町三丁目一番地

發行兼編輯者

伊東平藏

印刷者

佐脇亮三郎

印刷所

東京市芝區愛宕町三丁目一番地
佐脇印刷所

電話芝二四二五番

終